

ガイアポリス
共鳴

vol.1 ロディス




本データは、Studio F#が実施している
参加型投稿企画「ガイアポリス共鳴」の
お礼冊子の試し読み版です。
完全版は企画にご参加いただいた方に
さし上げております。
郵送でお送りする冊子版の他、データ
版もございます。

もしよろしければご参加下さい。

ガイアポリス共鳴

<http://kyomei.f-sp.net/>

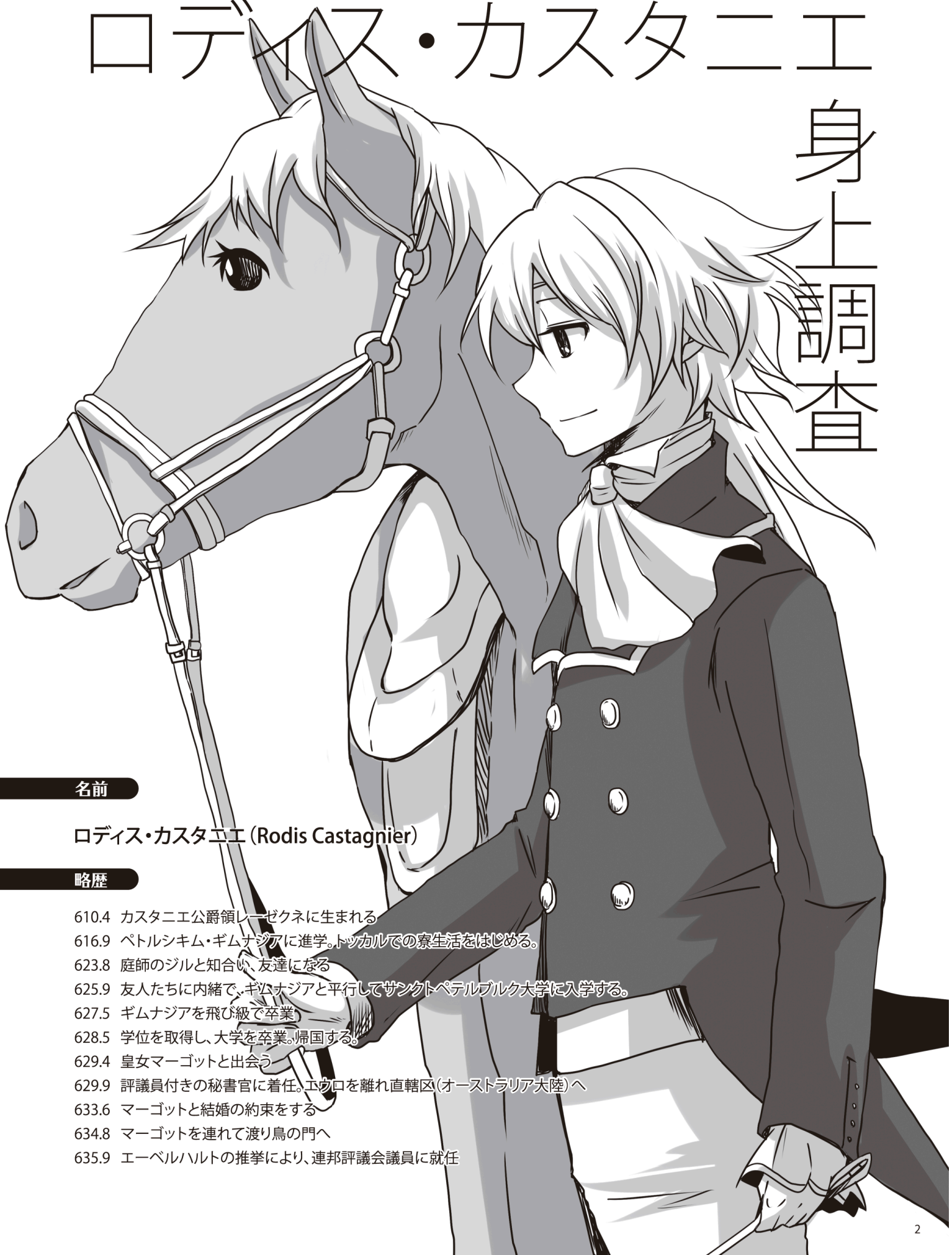


ガイアポリス
共鳴

vol.1 ロデイス

ロデイス・カスタニエ

工身上調査



名前

ロデイス・カスタニエ (Rodis Castagnier)

略歴

- 610.4 カスタニエ公爵領レーゼクネに生まれる
- 616.9 ペトルシキム・ギムナジアに進学。トツカルでの寮生活をはじめ。
- 623.8 庭師のジルと知合い、友達になる
- 625.9 友人たちに内緒で、ギムナジアと平行してザンクトペテルブルク大学に入学する。
- 627.5 ギムナジアを飛び級で卒業
- 628.5 学位を取得し、大学を卒業。帰国する。
- 629.4 皇女マーゴットと出会う
- 629.9 評議員付きの秘書官に着任。エウロを離れ直轄区(オーストラリア大陸)へ
- 633.6 マーゴットと結婚の約束をする
- 634.8 マーゴットを連れて渡り鳥の門へ
- 635.9 エーベルハルトの推挙により、連邦評議会議員に就任

性別

男

生年月日

610年4月5日



同じ年の他キャラ
アキーム、レフ、マルク、ジャン、ジル、ナシラ

星座

牡羊座



【古い師アンネローゼから一言】
火の属性を持つおひつじ座のあなた。自分の信じた道をまっすぐ進むのはいいけれど、時には立ち止まって、周りの人の言葉に耳を傾けて。

身長

178センチメートル



ちなみに、マーゴットは162センチメートル、ユリウスは181センチメートル、大人になったジエラルドは177センチメートル。

血液型

A型

髪の色

銀に近いアッシュブロンド

瞳の色

明るいブルー

利腕

右

その他身体的特徴

幼い頃は頻繁に女の子に間違えられる美少年で、大人になった今も線の細い中性的な美形。



物静かで賢いロデイスの美しい容姿はしばしば人に冷たく、近寄りがたい印象を与えるらしく、どちらかというと、憧れられることはあっても友人は出来にくいタイプである。ただし、ロデイス自身が進んで友人を多く得ようとするような性質ではないため、そのことについて特に不本意であるとは感じていない模様。

出身地

カスタンニエ公爵領レーゼクネ



レーゼクネは現在の地球ではラトビアの内陸部にある、森に囲まれた静かな街で、交通の要所です。
今ラトビアの首都といえばバルト海沿岸のリガですが、この時代にはエウロ各地域沿岸部は海面上昇により衰退しているため、内陸部の都市に重要な拠点が移されています。

現住所

連邦直轄区ネオポリス
セントラルコート（評議員官邸）



ネオポリスの官庁街に、各自治区の議員用の官邸があります。秘書官時代は職場に近いマンションなどに暮らしていましたが、評議員に就任してからはこちら。
官邸には評議員二名用の独立した住空間が確保されていますが、エーベルハルトと同じようなものです。きつと、何かと苦労していることでしょう。

免許・資格

普通免許
学士（経済学）



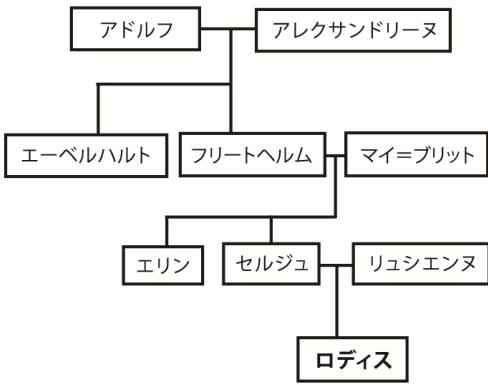
あまり不必要な資格まで取りたがるタイプでは無いので、必要最低限。

連邦評議会議員
(評議会でのあだ名は「ニムロデ」
または「ニムロデ卿」)
連邦共和国軍・統合作戦本部長(元帥)



連邦評議員は各自治区から二人づつ選出されて直轄区に派遣され、そこでそれぞれ連邦政府の重役を兼任します。ロデイスが担当することになったのは軍務で、「白服組」のトップである統合作戦本部長・元帥です。
共和国軍にはロデイスが担当する統合作戦本部とは別に「黒服組」と呼ばれる参謀本部があります。
ロデイスは評議員にづくまで軍人としての経験は無かったため、役職に就くにあたっては、滞りなく職務が務められるか、本人も随分懸念していたようですが、そもそも共和国軍自体が、すでに数百年戦争を経験していない軍組織であるということもあり、心配するような問題は無く、彼は共和国軍においても十分にその能力を発揮できているようです。白×金×青の軍服は大変似合います。

ミニ家系図



勤勉で聡明、私欲も無く行動力もあるが、理想が高すぎるので、やや独善的で早急な考えに陥りやすい。



優秀であり、謙虚であり、勤勉であり、自分に厳しく他人にも同じものを求めるので、本来あまり組織のリーダーには向いていないと思われる。
しかし、直轄区における軍務では副官のフレドリック・エルマーが、政務ではイヴァール・ブライアース達秘書官がよく補佐をしているおかげで、彼の手腕は遺憾なく発揮されている。
人の気持ちにやや鈍感で、気づくのが大抵遅い。本人に自覚はあまりないが、好きな人にも普段冷たい。(どちらかというとなんか嫌いな人への方が粘着質)加えて、興味の無い人に対しては親切なので、女性から言い寄られると割と簡単にオーケーしてしまうようだ。

カスタニエ公爵セルジュ・カスタニエ



大貴族だが、殆ど社交界に顔を出さないため、貴族界では変人と揶揄される人物。
もともと物静かなタイプであったが、妻をはやくに亡くしてからさらに城に引きこもりがちになった。
トツカル大統領ニコライ・ラルフ・バートとは親友である。

リュシエンヌ・カスタニエ



口数の少ないセルジュと相性の良かった、控えめだが朗らかな女性であり、夫婦揃ってエウロの先代皇帝アーシユラと親しく交流があった。
※ロデイスが幼い頃に亡くなったため、彼自身の母の記憶は曖昧である。



生い立ち

大貴族の跡取り息子として生を受けたロデイスの幼少時代はとても幸せなものでしたが、恵まれた割には孤独感のあった数年間だったと思います。
病気がちな母にはいつも甘えるわけにもいかず、母亡き後は、父は息子を傍に置かず、すぐに遠くの寄宿舎学校へ入れました。
幼いロデイスが家族や使用人たちの元を離れたことは無いのですが、彼は父に反抗しません。我慢して良い子でいることによって、敬愛する父に自分を見てもらうとすするようないじらしい子供でした。
エウロとトツカルを往復する生活を送るロデイスの養育は、主に執事のラッセルが行いました。セルジュはロデイスを疎んでいたので決して無いものを、自分をまっすぐに慕ってくる幼いロデイスを見てみると、失った妻の面影だけでなく、かつて失った弟を思い出してしまい、どうしても微妙に距離感を持った愛し方しかできなかったようです。

兄弟は居ない



スーツ



私服



リ・エンゲイジ（2012）の立ち絵資料です。本当は正面の立ち絵も載せたかったのですが、なぜか原寸の画像が残っておらず、発見できた斜めバージョンで。絵柄はどんどん変わっていくので、これすら今見ると仰け反りたくなる部分もあるのですが、そこはぐっと我慢。思えば、最初の作品「砂」を作り始めた頃は、本当に描けなくて、「絵は（見苦しいので）外注してください」とか色々と言われたものです。当時だって必死に描いていましたから、かなりめげながらやって来ました。でも、1本のゲームが必要とする絵の枚数は膨大なので、おいそれと人様に頼むわけにはいかないし、そもそも予算がありませんので無理なのです。最近は幸い、そう言ったご意見は頂かなくなったので、少しずつは進歩してるのかな……？ そう思っていたいものですね！ 常に常に！精進です。リ・エンゲイジでは、塗りを出来るだけシンプルに抑えてアニメっぽくなるように意識して画像を作りました。影も出来るだけ少なくしたかったのですが、とても難しいです。

表情差分は、どのくらい差分を用意するのか、という点がいつも悩ましく、リ・エンゲイジでのロディは次ページのような感じでした。立ち絵は記号なので、究極的には差分はあまり必要が無いとも思えるし、色々動いたり変化した方が賑やかで良いような気もする……F#では私が絵を全部描いているので、枚数制限がない分、何枚描くのか、という問題では、いつも頭を悩ませます。今のところは、シナリオの内容に合わせて書くことにしていますので、ラフ以上の絵作業は極力シナリオが完成してから取り組むようにしています。（たまにシナリオに詰まったりすると書いてしまうけど！）

StudioF#

Nimrod : ニムロデ

旧約聖書の登場人物、ノアの曾孫。
狩人。バベルの塔の建設を指揮する。
名前はヘブライ語で「我々は反逆する」

